



**MORIOKA**  
ROTARY CLUB WEEKLY

第42回例会(6月2日)  
平成29年6月9日発行

クラブ事務所 岩手県盛岡市菜園1丁目10  
川徳デパート内  
例 会 場 同上 TEL(651)1111(代)  
例 会 日 毎週金曜日12時30分～

会 長 駒木 進  
幹 事 海野 尚  
会 報 熊谷 隆司  
クラブ事務局 TEL(653)5682  
FAX(653)5622

ROTARY SERVING HUMANITY. '人類に奉仕するロータリー'…… ジョン F ジャーム

会員卓話



『昔話が現代に伝えるもの』

(株)IBN 岩手 代表取締役  
大平 騰一君

昔話の歴史は古くて、言葉が使われるようになって昔話も同時発生したと考えられます。昔話を聞くことは娯楽の少ない時代にはテレビや映画を観るような第一級の楽しみだったと思われます。そのストーリーは庶民の口から発生して、物語の伝達は語り(口伝)によって伝わって行きます。その庶民の創作した昔話を集めて本にすることが行われて、国境を越えて現代に伝えられています。

○イソップ物語

紀元前6世紀 ギリシャ  
アリとキリギリス うさぎとカメ  
北風と太陽 金の斧と銀の斧など

○千夜一夜物語

9世紀 ササン朝ペルシャ 最初は282話  
アラジンと魔法のランプ  
シンドバッドの冒険  
アリババと40人の盗賊  
(空飛ぶ絨毯などはこの282話には入って  
なくて後から加えられた)

○今昔物語

12世紀 日本 1040話  
竹取物語など

○宇治拾遺物語

13世紀 日本 197話  
わらしべ長者 こぶとり爺さんなど

○グリム童話

19世紀 ドイツ グリム兄弟が国内の優れた話を集めて本にして発行。  
1812年第一巻86話 1815年第二巻70話  
最終的には全250話  
狼と七匹の子ヤギ カエルの王様  
ヘンゼルとグレーテル ラプンツェル  
赤ずきん シンデレラ 白雪姫  
ブレーメンの音楽隊

○アンデルセン童話

19世紀 デンマーク  
1835年から40年間童話を創作し続けて156話を世に送り出した。  
みにくいアヒルの子 人魚姫 赤い靴  
裸の王様 マッチ売りの少女など

○佐佐木喜善

20世紀 日本  
老嫗夜譚 聴耳草子 遠野の昔話 など多数の昔話を土地の語り部から採話して刊行。日本のグリムと称されることもある。

方言は魂の言語

明治維新により富国強兵政策を押し進めるに

あたり、軍隊で指揮命令を伝える言語がバラバラだと薩摩の大將率いる津軽の兵隊には命令が伝わらないという困ったことが起きます。統一した言語が無いと戦争が出来ないため、全国各地隅々にまで小学校を作り標準語教育を展開しました。そのため、地元の方言で幼少期を過ごした子供が社会や都会の学校に出て行くにあたり地元の言葉を封印して標準語で物事を伝えるという2ヶ国語を使い分けるような状態が生じることになります。これは現代も程度の差はあっても続いていると考えています。

標準語は物事を伝えるのにあまり不自由は無いけれど、自分の心象を表すのには多少の不自由さを感じることがあります。昔話が方言で語られることが多いのはそのような要素が関係している面もあると思われます。方言で語ることによって物語が生き生きとしてくる事もあります。しかし、方言はあまり遠方の人には理解してもらえない面もあり、万能ではありません。

自分の生まれ育った地元の言葉で思いっきり話をして魂の開放を意識してみるのも、自分の中に新しい発見があるかもしれません。

三陸縦貫自動車道が整備され、仙台と八戸が高速道路で結ばれて内陸から沿岸部への移動もスムーズになれば更に観光客が増加することが予想されます。岩手県の貴重な資源である昔話の語りを全県で観光客相手に展開するというのも、旅行者への新しいサービスとして魅力アップの源になるかもしれません。

### 北風と太陽 (イソップ物語)

あるとき、北風と太陽が力比べをしようとする。そこで、旅人の上着を脱がせることができるか、という勝負をする。

1. まず、北風が力いっぱい吹いて上着を吹き飛ばそうとする。しかし寒さを嫌った旅人が上着をしっかり押さえてしまい、北風は旅人の服を脱がせることができなかつた。
2. 次に、太陽が燦燦と照りつけた。すると旅

人は暑さに耐え切れず、今度は自分から上着を脱いでしまった。

これで、勝負は太陽の勝ちとなった。

### うさぎとかめ (イソップ物語)

ある時、ウサギに歩みの鈍さをバカにされたカメは、山のふもとまでかけっこ勝負を挑んだ。かけっこを始めると予想通りウサギはどんどん先へ行き、とうとうカメが見えなくなってしまった。ウサギは少しカメを待とうと余裕綽々で居眠りを始めた。その間にカメは着実に進み、ウサギが目覚めたとき見たものは、山のふもとのゴールで大喜びをするカメの姿であった。

### こぶとりじいさん (宇治拾遺物語)

あるところに、頬に大きな瘤(こぶ)のある隣どうしの二人の翁がいた。片方は正直で温厚、もう片方は瘤をからかった子供を殴るなど乱暴で意地悪であった。ある日の晩、正直な翁が夜更けに鬼の宴会に出くわし、踊りを披露すると鬼は大変に感心して酒とご馳走をすすめ、翌晩も来て踊るように命じ、明日来れば返してやると翁の大きな瘤を「すぼん」と傷も残さず取ってしまった。

それを聞いた隣の意地悪な翁が、それなら自分の瘤も取ってもらおうと夜更けにその場所に出かけると、同じように鬼が宴会している。隣の翁は出鱈目で下手な踊りを披露したので鬼は怒ってしまい、「ええい、下手くそ!こんな瘤は返してやる。もう二度と来るな」と言って昨日の翁から取り上げた瘤を意地悪な翁のあいた頬にくっつけると「今日の宴会はもうやめだ」と興ざめして去ってしまった。

それから正直な翁は瘤がなくなって清々したが、意地悪な翁は瘤が二つになり難儀した。

### 狼と七匹の子ヤギ (グリム童話)

ある所にお母さん山羊と7匹の子山羊が暮ら

していた。ある日、お母さん山羊は街へ出かけることになり、子山羊たちに「誰が来ても、決してドアを開けてはいけませんよ」と注意して家を出た。

そこへ狼がやって来るが、狼のがらがら声で「お母さんですよ」と言っても子山羊たちにはすぐに見破られてしまった。そこで狼は店でチョークを買い、それを頬張って声を変え再び子山羊たちの家へ。「お母さんですよ」と言うと、子山羊はドアの隙間から足を見せて欲しいと言うが、狼の足は真っ黒だったのでまたも見破られてしまう。

狼は次にパン屋で足を怪我したと言いながら小麦粉を足に塗りたくって真っ白にし、三たび子山羊たちの家へ。ドアの隙間から白い足を見た子山羊たちは大喜びでドアを開けるが、間一髪で柱時計の中に身を潜めた末っ子の山羊を除いて狼に丸呑みされてしまう。

子山羊を6匹も丸呑みにして腹一杯になった狼はそのまま眠りこけてしまう。そこへお母さん山羊が帰って来るが、末っ子から事の顛末を聞いたお母さん山羊は慌てずに眠りこけている狼の腹を鋏で切り裂いて子山羊たちを助け出す。そして、子山羊たちは狼の腹に石を詰め込んでお母さん山羊が縫い合わせた。

狼が目覚ますとやけに腹が重くなり、上手く歩けなくなっていた。喉が渇いた狼は井戸で水を飲もうとするが、腹に詰め込まれた石の重さで井戸の底へ転落して死んでしまう。

### かえるの王様（グリム童話）

ある国の王女が、泉に金の鞆を落としてしまう。そこへカエルが「自分を王女様のお友達にしてくれるのなら、池に落とした金の鞆を拾ってきてあげよう」と申し出る。王女は鞆を取り戻したい一心で、その条件をのむ。しかし、王女は鞆を取り返すと約束を破ってカエルを置いて帰る。それでもカエルは自力で城にたどり着き、王女に約束を守るように言う。王女は嫌々

ながらもカエルと一緒に夕食をとった後、すぐに寝室に戻るが、カエルは寝室にまであがりこんできていた。凶々しいカエルを見て王女は怒りのあまりカエルを壁に叩きつけるが、そのおかげでカエルの魔法が解け、立派な王に戻る。これまでの無礼を詫びた王の求婚を受け、二人は幸福な結婚をする。翌日、王の国から迎いの馬車が来る。馬車に同乗していた王の忠実な家来・ハインリヒは、胸に3本の鉄の帯を巻いていた。これは主人がカエルにされたときに、悲しみのあまり胸が張り裂けないようにはめたものだった。

主人が助かったため、喜びのあまり1本ずつはじけて帯がはずれる。

### 屁つぱり嫁ご

むかしある村に、年老いた母親と息子が住んでいました。ある日、隣村から働き者で親孝行な良い嫁を迎えました。

やがて10日も経つと、嫁の様子がおかしくなりました。母親が心配して嫁に理由を尋ねると、嫁は「屁がしたいが我慢している」と言うのです。母親が「屁ぐらい遠慮なくすればいい」とやさしく促すと、嫁は着物の裾をまくってものすごい屁をぶっ放しました。

母親は嫁の屁に吹き飛ばされて、向かいの大根畑へ飛ばされてしまいました。この様子を見ていた亭主（息子）はカンカンに怒り「こんな嫁は実家に返す」と言いだしました。嫁は悲しみながら、実家までの道のりを、亭主の後ろについてとぼとぼ歩いていきました。

しばらく進むと、港から出航できずに困っていた貨物船がありました。そこで、嫁は屁をふり貨物船を沖まで吹き飛ばしてあげました。そのお礼に米俵を三俵もらい、さらに道を歩いて行くと、峠の柿の木から柿を取ろうとしている男がいました。ここでも嫁はすごい屁をふり、柿の木から全部の柿の実を落としてやって、男が持っていた反物と馬をゲットしました。

亭主は「こんな宝嫁を実家に返すとはもったいない」と思い、嫁と一緒に家に帰る事にしました。嫁はとても喜び、ものすごい屁をぶっばなして亭主を自宅まで吹き飛ばし、後から馬や米俵を持って歩いて自宅へ戻ってきました。

のちに亭主は、嫁の為に屁の家(部屋)を作ってあげ、いつでも好きなだけ屁をふれるようにしてあげました。この家族はいつまでも仲良く幸せに暮らしましたとさ。

江戸時代に全国の流通網が整備され昔話も船乗りや馬や牛で荷物を運ぶ駄賃付けといわれる人達により全国に運ばれ、そこから女性が他家に嫁ぐことで家から家に伝わると明治・大正期

に最大の隆盛を極めます。

しかし、

- ・昭和のはじめからラジオが全国に急速に普及する
- ・昭和30年からテレビが全国に急速に普及する

それまで家庭の娯楽の王様だった昔話の語りを聞く人が急速に減少して、昭和40年代になると語り部も急激に減少。危機感を抱いた行政や教育関係者などが各地に残っていた語り部から採話して地元の図書館に本にして収める動きが起こり、ほとんどすべての市町村の図書館には地元の昔話を収録した本があります。

## 例 会 報 告

### 第42回例会 平成29年6月2日(金)

12時30分 開会点鐘

- ・司会 駒木 進会長
- ・ソング 奉仕の理想
- ・会長報告 駒木 進会長
- ・皆出席パッチ 近藤 駿(31年)・星 克彦(6年)・海野 尚君(3年)。
- ・入会祝 近藤 駿・掛上智章・齋藤 聡君。

- ・誕生祝 佐藤義正・勝 雅行・乳井隆明君。
- ・結婚祝 乳井隆明・福田莊介・米内 正・阿部 広君。
- ・幹事報告 海野 尚幹事  
終了後定例理事会

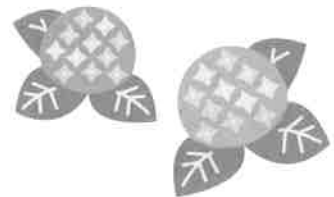
### 【ニコニコBOX】

- ◆西島光茂君…思い出の記(木)／2012年に学会に出席した後で妻と共に訪れたサントベテルブルグのペテルゴフ宮殿の庭に落ちていたドングリの実を持ち帰りました。偶然芽を出して大きくなった

ので、5月に病院の道路に面した植栽に植えました。5月27日私の誕生日に盗まれました。偶然ですが、この日はサントベテルブルグの建市記念日でもあります。記録に残したいと思い、虚しさも訣別するためにニコニコします。

### ●メークアップ

仙台R.C.=海野君。水沢東R.C.=長澤君。盛岡北R.C.=栗田君。盛岡西R.C.=勝君。盛岡東R.C.=熊谷(祐)君。クラブ委員会=福井・平井・田中・町君。



出席報告 ■ 会員数 / 75 名 ■ 出席数 / 45 名 ■ 出席率 / 65.71% ■ 前々回修正出席率 / 73.97%

プログラムの  
お知らせ

- ・ 6月 9日(金) 会員卓話 荒川鉄平会員「笑いと健康」
- 16日(金) 第4回クラブアッセンブリー
- 22日(木) ターミネートパーティー (23日例会変更)  
於：グランドホテル
- 30日(金) 特別休会

- 本号編集担当 / 阿部 広
- 次号編集担当 / 長谷川 桂